

第3回 北海道札幌高等養護学校学校評議員会 記録

日 時	平成 31 年 3 月 12 日（火） 15:00～16:50	場 所	会議室
学校評議員	P T A 会長：(出席)・欠席) 進路・卒後振興会長：(出席)・欠席) 株式会社ホクアイ取締役生産本部長：(出席)・欠席) 前田東町町会長：(出席・欠席) 就労移行支援事業所あるば：(出席)・欠席)		
本校参加者	高橋 勝利（校長）、菅原 靖博（教頭）、藤吉 正男（事務長） 矢吹 元子（主幹教諭）、高田 博文（教務主任） 阿部 真一（生徒指導部）、生徒会執行部生徒 7 名（会長、副会長 2 名、書記 2 名、会計 2 名）		
司会・進行：教頭 記録：矢吹 写真：高田			

記 録	
1 校長挨拶 15:00～15:05	校長挨拶
2 平成 30 年度学校 評価の結果につ いて 15:05～15:55	【保護者対象結果】 教頭より、今年度の回収率は 69%であることから、次年度は保護者に分かりやすい項目設定などの工夫を行い回収率の向上を目指していくことを説明。 また学校評価集約結果を基に、平均値が高い評価項目については引き続き丁寧な対応をしていくことと「国語、数学などで学んだ基礎的な力が身に付いている」などの改善・工夫が必要な評価項目について内容を説明。 評議員の方から、基礎的な力を付けてほしいとのニーズがあると認識するが、国語や数学などで身に付いたか付いていないかの判断は、基準がない中では分かりにくく答えづらいと思われるのご意見をいただいた。 校長より項目内容について今後見直していくことを説明。 他に災害時の緊急連絡網の在り方について評議員の方からご質問があり、一覧表の作成や連絡手段の方法を複数確保できるよう整備していることを教頭より説明。 【教職員対象結果】 学校評価集約結果の改善・工夫が必要な評価項目について教頭より説明し、評議員の方に業務縮減の工夫などを伺う。 評議員の方からは、ワークシェアしながらローテーションローテーションし休暇を取得できればよいが実際は難しい現状があるのご意見をいただいた。別の評議員の方からは、働き方改革と言われる以前からフレックスタイムを導入し、長時間働かない風潮を社内につくったのご意見をいただいた。 教頭より本校での取り組みについて、月に 2 回の定時退勤日を設定して実施したところ早めに帰るようになったが、生徒の指導や学習活動にかかわることはカットできないところもあると説明。 校長より、会議の多さや書き物の多さを抜本的に変えないと変わらないので、新年度取り組んでいくことと、部活動やスクールカウンセラーについては外部人材を活用していくこと、休憩時間の付与について検討しながら取り組むことを説明。

	評議員の方から、障害分野にも詳しく、高校生の指導もしなければならず守備範囲が広いことから「専門性」の定義が一人一人異なると思うが、どう捉えているのかご質問をいただいた。 教頭から、授業の質の向上をかがけており、生徒の特性理解や各教科の専門性が必要になる。また普通校からの転入職員も多く戸惑いも見られるが専門性もあるので生かしていきたいと説明。 校長より、特別支援教育での専門性は、障害を理解できる力、個々のニーズをくみ取れる力に尽きると思われ、授業はできて当たり前と考えていると説明。 評議員の方から、教職員のアンケートから専門性の視点がばらばらになるのは我々福祉職員も同じで職員も異なったニーズをもっているとのこと意見をいただいた。 校長より、先生方の専門性のイメージの一致は難しいが、来年度は教育目標や育てたい子ども像を共通として一致させていきたいと説明。 【生徒対象結果】 教頭より、わかってくれる先生がいることや相談しやすい環境を引き続きつくっていくことを説明。
3 生徒会との懇談 16:00～16:40 自己紹介 本校受検理由 質疑応答	(生徒会執行部生徒7名入室) 生徒会執行部生徒から役職を含め自己紹介を行い、続いて評議員の方から自己紹介をいただく。 生徒会執行部一人一人から、「物作りが好きだから」や「寄宿舎で一人暮らしの練習をしたかった」などと本校の受検理由を説明。 評議員の方から、卒業後にどのような進路を考えているかご質問があり、「就労継続支援A型事業所でクリーニング作業」や「体力があるので倉庫会社での一般就労」「接客業」「介護関係」など希望する職種や理由を述べた。 生徒会執行部生徒から、1年生の時に評議員の方の企業で現場実習を実施し、金具やねじの袋詰めを行ったが、本格的な仕事はどのようなものがあるのか質問があった。評議員の方からは「ストーブの筒作りや加工する機械操作などオペレーターの仕事がある。現場実習は職場の雰囲気を体験してもらっている。」との回答をいただく。 また同じく生徒会執行部生徒から、就労移行支援事業所の評議員の方に「2年後の就労先はどこに行くのか」質問があり、「福祉や介護、医療の現場で清掃業務や簡単なお世話などが増えてきている」との回答をいただいた。
学校の良い点 改善点	生徒会執行部生徒から、学校の良いところについては、「生徒同士の仲が良いところ」や「お客さんが来たら挨拶をする」「実習で分からないことは先輩が優しく教えてくれる」「何か悪いことをして注意すると素直に聞いてくれる」などの意見を述べる。 悪いところや改善点は、「話していいときと悪いときの区別をつけた方がよい」「友達と信頼しあいすぎて悪い方へいかないよう改善する」「廊下が寒いので暖かくしてほしい」などの意見を述べる。

質疑応答	評議員の方から、なぜ生徒会に入ったのかご質問いただき、生徒会執行部から、「学科の中で言うだけは文句になるので、生徒会に入り生徒会の中で言うことで変えていきかった」「みんなのためと思った」「先生や友達に勧められたり、以前の生徒会の人を見てやってみたいと思った」など意見を述べた。
今後取り組みたいこと 質疑応答	「意見 BOX の設置」や「昼休みのグラウンド開放」などやっていきたいことを生徒会執行部から説明。 評議員の方から、みんな仕方なくとの考えではなくポジティブ、プラス思考で受検してきたとの話を聞いて感銘を受けた。みんなとても良かったとのご意見をいただいた。
4 意見交換	(生徒会執行部生徒 7 名退室) 評議員の方から、先輩が後輩に教えるには、自分が知っていないとできない。自身の企業でも仕事はできるが人にものを教えるのは下手な人もいる。
5 次回の学校評議員会の開催予定について 16:50～16:55	教頭より、次年度の進路卒後指導振興会会長は、前年度 PTA 会長が就くことになるとの説明。
6 閉会式（校長） 16:55～17:00	学校評価について貴重なご意見をいただいたことと今年度 3 回開催した学校評議員会について感謝を述べて本会終了。